ネットワークガイド

hp

invent

HP all-in-one ネットワーク ガイド

出版番号： Q3450-90293

初版：2004 年 7 月

注意

HP 製品およびサービスに適用される保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明記されています。本書の記載事項を追加保証として解釈してはなりません。HP は本書の内容に関する技術上または編集上の誤記または脱落について責任を負わないものとします。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

「ご注意：」規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：

  郵便切手

  食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- Paper currency, traveler's checks, or money orders
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告 発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告 感電の危険性があります

1. セットアップ ポスターに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. だれかが電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンスクリーン ヘルプのトラブルシューティングのページを参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。

目次

1 はじめに

本書の目的は、お買い求めいただいた HP all-in-one に付属する印刷物の『セットアップ ガイド』 および 『ユーザー ガイド』 の情報を補うことにあります。本書では、機器の設定および接続、ソフトウェアのインストール等、ネットワーク環境での HP all-in-one の設定方法について説明します。また、推奨される各種ネットワーク構成、ネットワーク管理情報、トラブルシューティングのためのヒント等も紹介します。

お手元の HP all-in-one をネットワークに接続すると、HP all-in-one および全ての互換性のある機器をネットワーク上の各コンピュータ間で共有することができます。ネットワークに接続せず、USB ポートに直接に接続するには、『セットアップ ガイド』 を参照してください。

この章では、以下のトピックの情報が得られます。

- ネットワークの種類の選択
- ネットワーク管理ツールの使用
- USB 接続からネットワーク接続への切り替え
- 追加のコンピュータを接続する
- HP 製品サポートについて

注記　本書で使用される用語の定義については、用語集 を参照してください。

ネットワークの種類の選択

HP all-in-one を接続する Eithernet ネットワーク 環境を設定するにはいくつか方法があります。詳細は、推奨される Ethernet ネットワークの選択 を参照してください。

ネットワーク管理ツールの使用

HP all-in-one の管理ツールの使用についての詳細は、ネットワークの管理 を参照してください。

USB 接続からネットワーク接続への切り替え

USB 接続された HP all-in-one は、後から切り替えてネットワークに接続することができます。

USB 接続のネットワーク接続へ切り替えるには

1. HP all-in-one の後部から USB 接続ケーブルを取り外します。
2. Ethernet ケーブルで接続する を参照して HP all-in-one を接続します。
3. ソフトウェアのインストール を参照して付属のソフトウェアをインストールします。

4 ソフトウェアのインストールが完了したら、以下の手順でコンピュータ上のプリンター用各種アイコンにアクセスします。
   – 「**Windows XP の場合**」:「**プリンタとファクス**」 フォルダを開きます。
   – 「**Windows 98/Me または Windows 2000 の場合**」:「**プリンタ**」 フォルダを開きます。
   – 「**Macintosh OS X の場合**」:「**ユーティリティ**」 一覧にある「**プリントセンター**」または「**プリンタ設定ユーティリティ**」 を開きます。
5 その中に HP all-in-one 用の USB プリンターのアイコンが存在するかどうかを確認します。USB プリンタのアイコンが表示されている場合は削除してください。

追加のコンピュータを接続する

HP all-in-one が推奨ネットワークに接続されている場合、HP All-in-One をネットワーク上の他のコンピュータと共有することができます。追加する各コンピュータについて、ソフトウェアのインストール を参照して HP all-in-one のソフトウェアをインストールする必要があります。このソフトウェアは、インストール中に接続中のネットワークの SSID (ネットワーク名) を自動的に検出します。HP all-in-one のネットワーク接続が一旦完了すれば、次回にコンピュータを追加する際、再び設定を行う必要がなくなります。

HP 製品サポートについて

HP カスタマ サポートへのお問い合わせについては、HP all-in-one に付属している 『ユーザー ガイド』 を参照してください。

2 推奨される Ethernet ネットワークの選択

すでに所定の位置に接続した、またはセットアップしようする Ethernet ネットワークの種類を本章で確認します。 ここで示される各ネットワークは、Ethernet ルーターなどのデバイスを使用してネットワーク構成要素を接続します。 このように接続されたネットワークは 「**インフラストラクチャ**」 ネットワークと呼ばれます。 Ethernet ネットワークにより、より優れたパフォーマンス、確実性、 ネットワーク セキュリティが得られます。

Ethernet ネットワークは、インターネットに接続する場合と接続しない場合があります。 HP all-in-one をインターネット接続の Ethernet ネットワークに配置する場合は、HP all-in-one の IP アドレスが Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) で動的に割り当てられるようにするため、ゲートウェイを使用することをお勧めします。ゲートウェイには、ルーターか Internet Connection Sharing (ICS) が稼働している Windows コンピュータが使用できます。

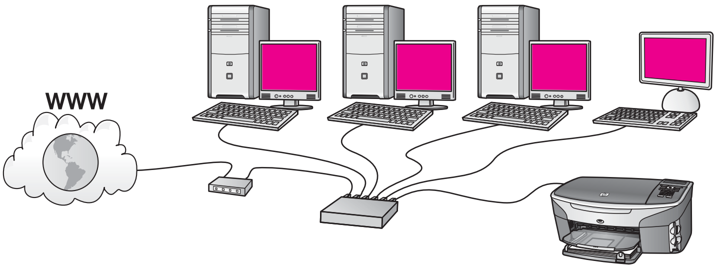
注記 ここで定義されていない用語の定義については、 用語集 を参照してください。

以下の有線 LAN （ローカル エリア ネットワーク）構成で HP all-in-one を使用することをお勧めします。

DSL またはケーブルでインターネットにアクセスする有線ネットワークへの Ethernet 接続

DSL またはケーブルでインターネットにアクセスする場合は、インターネット ゲートウェイとしてルーターかコンピュータ、どちらかを使用します。DSL とケーブルのどちらを使用しても、HP Instant Share を使用してインターネット上で写真を共有するなど、 HP all-in-one のすべての機能を利用できます。

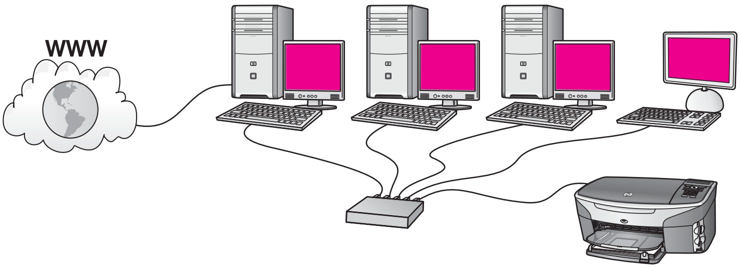
「ルーター ゲートウェイ」



この例では、ルーターがネットワーク接続を管理し、DSL またはケーブル モデムがインターネットにアクセスします。 この構成を使用する場合は HP all-in-one を Ethernet ケーブルでルーターに接続します。

この構成では、HP Instant Share を使用してインターネット上で写真を共有するなど、 HP all-in-one のすべての機能を利用できます。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

「コンピュータ ゲートウェイ」

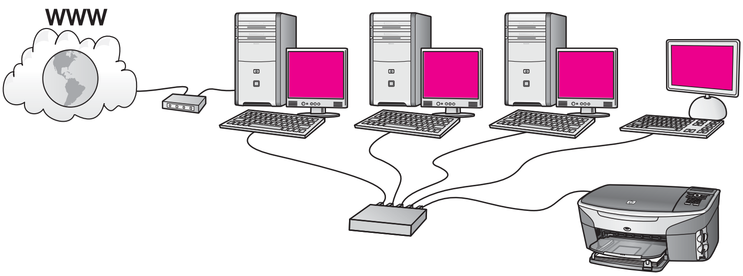


この例では、ネットワーク機器はスイッチまたはルーターに接続されます。ネットワーク上の 1 台のコンピュータが、ネットワークとインターネット間のゲートウェイとなります。このゲートウェイ コンピュータは、Windows Internet Connection Sharing (ICS) か類似のソフトウェアを使ってネットワーク接続を管理し、また他の機器がインターネットにアクセスできるようにします。

注記　ゲートウェイの働きをしているコンピュータの電源がオフになると、ネットワーク上の他のコンピュータはインターネットに接続できなくなります。また、HP all-in-one のインターネットに関連する機能も利用できなくなります。-

この構成を使用する場合は、 HP all-in-one を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

モデムでインターネットにアクセスする有線ネットワークへの Ethernet 接続

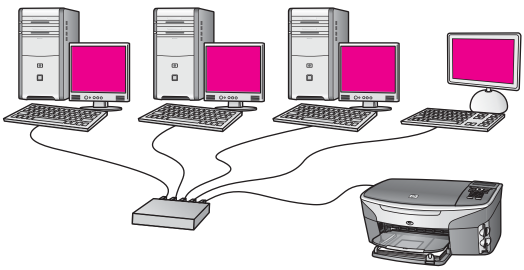


この例では、ネットワーク デバイスはスイッチまたはルーターに接続され、モデム（この図では左側のコンピュータに接続されている）がインターネットにアクセスします。モデムは、電話コードとジャックを使用してコンピュータに接続されています。1 台のコンピュータだけがインターネットにアクセス

できます。ネットワーク上の HP all-in-one や他のコンピュータは、インターネットにアクセスできません。この構成を使用する場合は、 HP all-in-one を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

注記　HP all-in-one で HP Instant Share の機能を使用するには、ケーブルや DSL などの、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。HP Instant Share の詳細については、 HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』を参照してください。

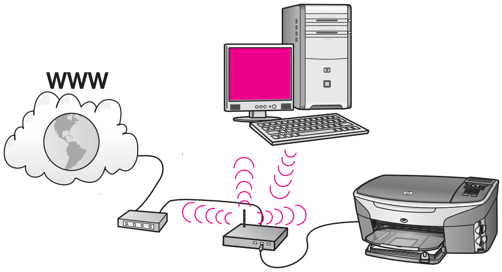
インターネットに接続しない有線ネットワークへの Ethernet 接続



この例では、ネットワーク デバイスはスイッチまたはルーターには接続されていますが、インターネットへは接続されていません。デバイスは AutoIP を使用するため、 IP アドレスは自動的に設定されます。 この構成を使用する場合は、 HP all-in-one を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

注記　HP all-in-one で HP Instant Share の機能を使用するには、ケーブルや DSL などの、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。HP Instant Share の詳細については、 HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』を参照してください。

ワイヤレス ネットワークへの Ethernet 接続

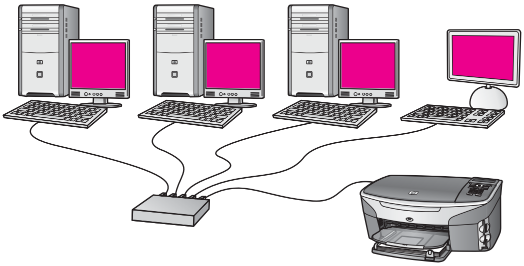


アクセス ポイントによって有線デバイスがワイヤレス ネットワークに接続されます。 このモデルでは、ワイヤレス ネットワーク アダプタを使用してコンピュータをワイヤレス ネットワーク用に設定し、データの送受信はアクセス ポイント経由で行います。HP all-in-one は有線ネットワーク用に設定し、また Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続します。 DSL またはケーブル モデムがインターネットにアクセスします。 接続方法については、Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

注記　この構成では、インターネット接続を Ethernet ケーブルを使用してアクセス ポイント経由で直接行うことをお勧めします。

3 Ethernet ケーブルで接続する

本章では、HP all-in-one をルーター、スイッチ、またはアクセス ポイントに Ethernet ケーブルを使用して接続する方法について説明します。



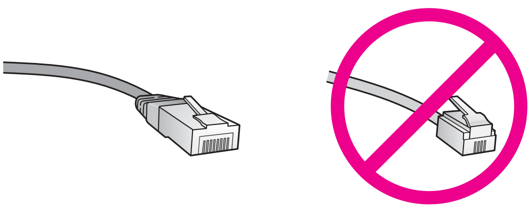
有線ネットワークの設定については、推奨される Ethernet ネットワークの選択 を参照してください。

注記 用語の定義が本章に記載されていないものについては、用語集 を参照してください。

HP all-in-one をコンピュータへ接続するには、まず次のセクションを参照して、準備するものを確認してください。 HP all-in-one の接続が完了したら、ソフトウェアのインストール を参考にして必要なソフトウェアをインストールします。

準備するもの

- Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントをもつ、稼働中の Ethernet ネットワーク
- CAT-5 Ethernet ケーブル、お手持ちの Ethernet ケーブルの長さがネットワークの設定に足りない場合、十分な長さのケーブルを購入することをお勧めします。



標準の Ethernet ケーブルは普通の電話ケーブルと似ていますが､互換性はありません。 この 2 種類のケーブルでは線の本数が異なり、また異な

るコネクタが付いています。 Ethernet ケーブル コネクタ (すなわち RJ-45 コネクタ) は幅が広く厚みがあり、末端の接触部分は常に 8 箇所あります。 電話ケーブルのコネクタは接触部分が 2 箇所から 6 箇所の間です。

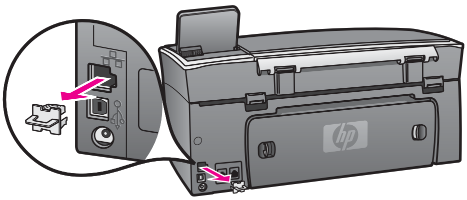
- ルーターまたはアクセス ポイントへ有線またはワイヤレス接続をもつデスクトップ コンピュータまたはノートパソコン

  注記　HP all-in-one は 10 Mbps および 100 Mbps Eithernet ネットワークへ接続可能です。 ネットワーク インターフェース カード (NIC) の購入をお考え場合、または既にご購入済みの場合、この両方の速度で動作することを確認してください。

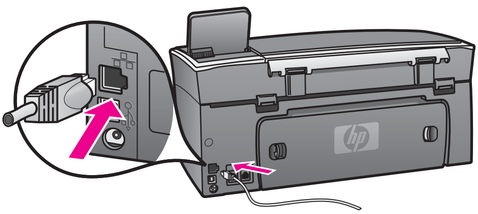
- ケーブルおよび DSL 等のブロードバンド インターネット アクセス (「**HP Instant Share**」 にデバイスから直接アクセスしたい場合のみ)。 HP Instant Share についての詳細は、HP all-in-one に付属の『ユーザーガイド』 (印刷物） を参照してください。

HP all-in-one の接続

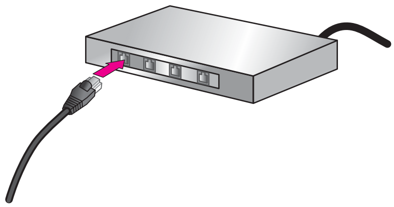
1 HP all-in-one の後部から黄色のプラグを抜きます。



2 HP all-in-one の後部にある Ethernet ポートに Ethernet ケーブルを接続します。



3 Ethernet ケーブルのもう一方の端を Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントの空いているポートに接続します。



4　HP all-in-one のネットワークへの接続が完了したら、コンピュータへソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストールを参照してください。

Ethernet ケーブルで接続する

4 ソフトウェアのインストール

本章では HP all-in-one のソフトウェアの Windows または Macintosh コンピュータへのインストールについて説明します。 ソフトウェアをインストールする前に、これまでの章を参考にして HP all-in-one がネットワークに接続されていることを確認してください。

注記　コンピュータが一連のネットワーク ドライブに接続するよう設定する場合、ソフトウェアをインストールする前に、コンピュータが現在それらのドライブに接続されていることを確認してください。 さもないと、HP all-in-one のインストール ソフトウェアがネットワーク ドライブに割り当てられた予約済みドライブ名を使用する可能性があり、そのネットワーク ドライブ名へのアクセスが不可能になります。

お手持ちのコンピュータの OS が Windows または Macintosh コンピュータかに応じて、下記の手順を参照してください。

Windows の場合

この後の説明は､Windows コンピュータだけに適用されます。

注記　インストールに要する時間は､お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

HP all-in-one のソフトウェアをインストールするには

1 実行中の全てのアプリケーションを終了します。これには OS 内の XP ファイヤーウォールやその他のファイヤーウォール、ウイルス対策用ソフトウェアも対象です。
2 HP all-in-one に付属する Windows 用の CD をお使いのコンピュー の CD-ROM ドライブに挿入します。
「**ようこそ**」 画面が表示されます。

注記　スタートアップの画面が表示されない場合、CD 上の「**setup.exe**」 ファイルをダブルクリックしてください。

3 システムの点検および準備のためのインストール画面、また、ドライバー、プラグインおよびソフトウェアのインストール画面では､「**次へ**」 をクリックします。
さらにいくつかの画面を経て､「**接続タイプ**」 画面が表示されます
4 「**接続タイプ**」 画面で 「**ネットワークを介して接続**」 を選択し､「**次へ**」 をクリックします。
セットアップ プログラムがネットワーク上の HP all-in-one を検索している間､「**検索中**」 画面が表示されます。

ソフトウェアのインストール

5 「**プリンタが検出されました**」 画面で、そのプリンタについての詳細が正しいことを確認してください。

   ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、「**プリンタが見つかりました**」 画面が表示されます。接続するデバイスを選択してください。

   お使いの HP all-in-one に対してのデバイスの設定を参照するには

   a お使いのデバイスのセットアップボタンを押します。
   b 「**ネットワーク メニュー**」 で 「**ネットワーク設定を表示**」 を選択した後、「**概要を表示**」 を選択します。

6 デバイスの説明が正しい場合、「**はい、このプリンタをインストールします**」 を選択します。

7 コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します（XP では再起動しない場合もあります）。

   ソフトウェアのインストールが完了したら、HP all-in-one の準備は完了です。

8 ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP all-in-one へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、HP all-in-one に付属の 『ユーザー ガイド』 (印刷物) を参照してください。

Macintosh の場合

この後の説明は､Macintosh コンピュータだけに適用されます。

注記 インストールに要する時間は､お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

HP all-in-one のソフトウェアをインストールするには

1 実行中の全てのアプリケーションを終了します。

2 HP all-in-one に付属の Macintosh 用の CD を、お使いのコンピュータ の CD-ROM ドライブに挿入します。

3 「**HP all-in-one インストーラ**」 アイコンをダブルクリックします。



Macintosh 用インストーラ アイコン

4 「**認証**」 画面で、コンピュータやネットワークへのアクセスに使用される、管理者用パスワードを入力してください。

このインストーラ ソフトウェアは HP all-in-one デバイスを検索して一覧を表示します。

5 [デバイスの選択] 画面で、HP all-in-one を選択します。

6 画面上の指示に従って、「**設定アシスタント**」 を含む全てのインストール作業を完了してください。
ソフトウェアのインストールが完了したら、HP all-in-one の準備は完了です。

7 ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP all-in-one へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、お買い求めのデバイスに付属の『ユーザー ガイド 』(印刷物) を参照してください。

5 ネットワークの管理

本章では、デバイスのコントロール パネルと Embedded Web Server 上のネットワーク ツールの使用法について説明します。 これらのツールを使用すると、ネットワーク構成の表示や編集をしたり、ネットワークのセキュリティを強化したりできます。

HP all-in-one のコントロール パネルを使用する

HP all-in-one コントロール パネルを使用することで、多様なネットワーク管理タスクを実行することができます。例として、各種ネットワーク設定の表示、ネットワーク デフォルトの回復、各種ネットワーク設定の編集等があります。

ネットワーク設定の表示

デバイスのコントロール パネルに各種ネットワーク設定を表示することができます。 または、より詳細な設定情報のページを印刷することができます。

ネットワーク概要を表示する

ネットワーク概要の表示または詳細レポートの印刷を選択します。

ネットワーク概要を表示するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
  「ネットワーク メニュー」 が選択され、「ネットワーク設定を表示」 が選択されます。
3 「**2**」 を押します。
  これで、ネットワーク設定の概要が表示されます。

プリンタとネットワーク構成ページの表示

「ネットワーク構成ページ」には、IP アドレス、リンク速度、DNS、DNS-SD 等、全ての重要なネットワーク構成が表示されます。

ネットワーク構成ページを印刷するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
  「ネットワーク メニュー」 が選択され、「ネットワーク設定を表示」 が選択されます。
3 「**1**」 を押します。
  これにより、ネットワーク構成ページが印刷されます。

構成ページにあるアイテムの定義については、構成ページの定義 を参照してください。

ネットワーク デフォルトに戻す

必要に応じて、HP all-in-one ネットワークの設定を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

注記 この場合、入力された全てのワイヤレスの設定情報が消去されます。この情報を再度保存するには、ワイヤレス設定ウィザードを再度実行する必要があります。

工場出荷時の初期設定に戻すには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が選択され、「ネットワーク デフォルトに戻す」 が選択されます。
3 「**1**」 を押して確定します。

詳細なネットワーク設定

「詳細設定」 オプションでは、リング速度、各種 IP 設定、メモリー カードのセキュリティについての設定を変更することができます。

注記 上級ユーザーの方を除いては、これらの設定を変更しないことをお勧めします。

リンク速度を設定する

ネットワーク上でのデータ転送速度を変更することができます。 デフォルトの設定は 「自動」 です。

リンク速度を設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が表示され、「詳細設定」 が選択されます。
3 「**1**」 を押して、「リンク速度を変更する」 を選択します。
4 変更後のリンク速度の横に表示されている番号を押します。
– 「**1. 自動**」
– 「**2. 10 Mb/sec 全二重通信**」
– 「**3. 10 Mb/sec 半二重通信**」
– 「**4. 100 Mb/sec 全二重通信**」
– 「**5. 100 Mb/sec 半二重通信**」

IP 設定の変更

デフォルトの IP 設定は 「自動」 です。 必要に応じて、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルトゲートウェイをそれぞれ手動で変更できます。
HP all-in-one の IP アドレスとサブネット マスクを参照するには、ネットワーク構成ページを HP all-in-one から印刷してください。(プリンタとネットワーク構成ページの表示を参照) 構成ページにある IP アドレスやサブネット マスク等のアイテムについての説明は、構成ページの定義 を参照してください。

IP 設定を変更するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が表示され、「詳細設定」 が選択されます。
3 「**2**」 を押して、「IP 設定」 を選択します。
4 変更後のリンク速度の横にある番号を押します。
   – 「1. IP アドレス」
   – 「2. サブネットマスク」
   – 「3. デフォルトゲートウェイ」
5 変更を入力し、完了したら 「**OK**」 を押します。

メモリ カードのセキュリティを変更する

「詳細設定」 メニューの「メモリ カードのセキュリティ」 オプションでは、HP all-in-one が「**ワイヤレス**」 ネットワーク上のコンピュータとメモリ カードを共有するための設定を行うことができます。 この設定を行うと、お使いのコンピュータからメモリ カードへアクセスできなくなるため、お勧めしません。 また、この機能は Ethernet ネットワーク上では機能しません。 Etherne ネットワーク上の全てのコンピュータはそのネットワークに接続されている HP all-in-one のメモリ カードにアクセスすることができます。

埋め込み Web サーバーを使用する

HP all-in-one のコントロール パネルは、HP all-in-one の一般的なネットワーク設定の管理に最適です。 しかし、さらに詳細な設定は 埋め込み Web サーバー (EWS) を使用して行うことができます。 ご使用の Web ブラウザから、状態の監視、HP all-in-one のネットワーキング パラメータの設定、および HP all-in-one の機能を使用することができます。 EWS のこれらの機能およびその他の機能についての詳細は、埋め込み Web サーバー内のオンスクリーン ヘルプを参照してください。　埋め込み Web サーバーのヘルプにアクセスするには、以下の手順で 埋め込み Web サーバー を開き、埋め込み Web サーバーの 「**ホーム**」 タブ上の 「**他のリンク**」 にある 「**ヘルプ**」 リンクをクリックします。

埋め込み Web サーバーへのアクセス

埋め込み Web サーバーにアクセスするには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。

2 「**8**」、「**1**」、「**1**」 の順に押します。

これにより IP アドレスを含む、 HP all-in-one の構成ページが印刷されます。 次の手順で、IP アドレスを使用します。

3 ブラウザーの「**アドレス**」 ボックスに、ネットワーク構成ページに表示されている HP all-in-one の IP アドレスを入力します。 例として、http://195.168.0.5 のように入力します。

HP all-in-one のデバイス情報を示す、埋め込み Web サーバーの 「**ホーム**」 ページが表示されます。

注記 埋め込み WEB サーバへアクセスする場合は、プロキシサーバを無効にすることをお勧めします。

4 埋め込み Web サーバーで表示される言語を変更する場合、以下のように行います。

a 「**設定**」 タブをクリックします。

b 「**設定**」 ナビゲーション メニューの 「**言語の選択**」 をクリックします。

c 「**言語の選択**」 一覧で、適切な言語をクリックします。

d 「**適用**」 ボタンをクリックします。

5 「**ホーム**」 タブをクリックすると、プリンタとネットワークに関する情報を確認できます。また、「**ネットワーク**」 タブをクリックすると、ネットワーク情報の詳細を確認したり、ネットワーク情報を変更したりできます。

注意 プリント サーバーのワイヤレス ネットワーク設定を変更するときは、十分に気を付けてください。場合よっては接続できなくなることがあります。ネットワーク接続できなくなった場合、再接続のために新しい設定が必要になることがあります。プリント サーバーがネットワークに接続できなくなった場合には、工場出荷時の初期設定に戻して、ソフトウェアを再インストールする必要があります。

注記 コンピュータの TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) を無効にしないでください。 埋め込み Web サーバーとの通信に必要です。

6 ネットワークのトラブルシューティング

ここでは、HP all-in-one のネットワークに関するトラブルシューティング情報について説明します。またインストールおよび設定に関する問題について詳しく説明します。

有線ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング

ここでは、有線ネットワークのセットアップに関する問題の解決方法を説明します。

コンピュータが HP all-in-one を検出できない

原因

ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法

以下のケーブルを点検して、正しく接続されていることを確認してください。

- HP all-in-one とルーターの電源コード
- ルーターとコンピュータ間のケーブル
- モデムまたは HP all-in-one インターネット接続に使用されるケーブル (該当する場合)

原因

ローカル エリア ネットワーク (LAN) カード (NIC) が正しく設定されていません。

解決方法

LAN カードが正しく設定されていることを確認します。

Windows XP で LAN カードを確認するには

1 「**マイ コンピュータ**」 を右クリックします。
2 「**システムのプロパティ**」 ダイアログ ボックスで、「**ハードウェア**」 タブをクリックします。
3 「**デバイス マネージャ**」 をクリックします。
4 お使いのカードが 「**ネットワーク アダプタ**」 に表示されていることを確認します。
5 お使いのカードに付属するマニュアルを参照してください。

原因

ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法

ネットワーク接続がアクティブになっているか確認します。

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認するには

1 カラー グラフィック ディスプレイで有線ネットワークのアイコン（左下）が表示されているか確認します。アイコンが表示されている場合、HP all-in-one はネットワークに接続されています。
左のアイコンはアクティブになっている有線ネットワークを示します。右のアイコンはアクティブになっていない有線ネットワークを示します。



有線ネットワーク アイコン

2 有線ネットワークのアイコンが表示されていない場合は、HP all-in-one からゲートウェイまたはルーターまでのケーブル接続を点検し、きちんと接続されていることを確認してください。
3 HP all-in-one が、CAT-5 Ethernet ケーブルでネットワークと接続されていることを確認します。
4 HP all-in-one の後部の RJ-45 Ethernet ジャックの上部と下部にある 2 つの Ethernet インジケータ ランプを確認します。このランプは以下の状況を示します。
   a 上部のランプ - このランプが緑に点灯している場合、デバイスはネットワークに正しく接続されていて、通信は確立しています。上のランプが消えている場合、ネットワークに接続されていません。
   b 下部のランプ - デバイスがデータをネットワーク経由で送信または受信すると、この黄色のランプが光ります。
5 正しく接続されている場合、HP all-in-one の電源を入れ直してください。 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を切り、再度同じボタンを押して電源を入れ直します。 ルーターの電源も一度切って入れ直してください。

アクティブなネットワーク接続を確立するには

1 有線ネットワークのアイコンがアクティブになっていない場合は、HP all-in-one からゲートウェイまたはルーターまでのケーブル接続を点検し、きちんと接続されていることを確認してください。

2　きちんと接続されていることが確認できたら、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を切り、再度同じボタンを押して電源を入れ直します。 ルーターの電源も一度切って入れ直してください。

システム要件エラー：TCP/IP が存在しません

原因

ローカル エリア ネットワーク (LAN) カード (NIC) が正しく取り付けられていません。

解決方法

LAN カードが正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します。LAN カードに付属しているマニュアルを参照してください。

インストール中に [プリンタが検出されませんでした] 画面が表示される

原因

HP all-in-one の電源が入っていません。

解決方法

HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイを確認してください。カラー グラフィック ディスプレイに何も表示されておらず、「**On**」 ボタンが点灯していない場合は、HP all-in-one の電源が入っていません。HP all-in-one の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。「**On**」 ボタンを押して、HP all-in-one の電源を入れてください。

原因

ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認してください。詳細については、 ネットワーク接続がアクティブになっていない を参照してください。

原因

ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法

以下のケーブルを点検して、正しく接続されていることを確認してください。

- HP all-in-one とルーターの電源コード
- ルーターとコンピュータ間のケーブル
- モデムまたは HP all-in-one インターネット接続に使用されるケーブル (該当する場合)

ルータなしにケーブル モデムを使用していて、IP アドレスがない

原因

ケーブル モデムを持つ PC を使用している場合で、他のコンピュータ用に独立したローカル エリア ネットワーク (LAN) があり、DHCP もルータも使用していない場合は、AutoIP を使用して他のコンピュータと HP all-in-one に IP アドレスを割り当てる必要があります。

解決方法

ケーブル モデムを持つコンピュータの IP アドレスを入手するには

➔ ケーブル モデムを持つ PC には、インターネット サービス プロバイダ (ISP) によって静的または動的 IP アドレスが割り当てられます。

それ以外のコンピュータと HP all-in-one に IP アドレスを割り当てるには

➔ それ以外のコンピュータと HP all-in-one には、AutoIP を使用して IP アドレスを割り当てます。静的 IP アドレスは割り当てないでください。

a　構成ページの定義

ここでは、ネットワーク構成ページに表示されるアイテムについて説明します。

全般ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示される全般ネットワーク設定について説明します。

「パラメータ」	「説明」
ネットワーク状態	HP all-in-one には以下の状態があります。 ● 「**準備完了**」HP all-in-one はデータ送受信を待機中です。 ● 「**オフライン**」HP all-in-one はオフライン状態です。
アクティブな接続の種類	HP all-in-one には以下のネットワーク モードがあります。 ● 「**有線**」HP all-in-one は Ethernet ケーブルで IEEE 802.3 ネットワークに接続されています。 ● 「**ワイヤレス**」HP all-in-one はワイヤレスで IEEE 802.11b または g ネットワークに接続されています。 ● 「**なし:**」有線と無線の両方のネットワーク接続方式が無効です。 注記　1 度に使用できる接続方式は 1 方式だけです。
URL	埋め込み Web サーバー (EWS) の Web アドレスまたは IP アドレス。 注記　埋め込み Web サーバー を使用するには、この URL が必要です。
ハードウェア アドレス (MAC)	HP all-in-one ごとに固有に付けられている媒体アクセス制御 (MAC) アドレス。 これは、ネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。複数のハードウェアが同一の MAC アドレスを持つことはありません。 注記　取り付け時にケーブル モデムや DSL モデムに接続したネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを、登録するように求めるインターネット サービス プロバイダ (ISP) もあります。
ファームウェア リビジョン	内部ネットワーキング コンポーネントおよび本体ファームウェアのバージョン コード。 注記　サポートに問い合わせると、問題にもよりますが、このファームウェア バージョン コードを問われることがあります。

(続き)

ホスト名	インストール ソフトウェアが本体に割り当てる TCP/IP 名。 デフォルトでは、文字 HP の後に MAC アドレスの最後の 6 桁が続きます。
IP アドレス	ネットワーク上で本体の識別に使用される固有のアドレスです。IP アドレスは、DHCP または AutoIP によって動的に割り当てられます。静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨しません。 注記　無効な IP アドレスをインストール時に手動で割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP all-in-one を参照できなくなります。
サブネット マスク	サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの一部分としてネットワークを利用できるようになります。サブネットの指定には、サブネット マスクを使用します。このマスクによって、HP all-in-one の IP アドレスを構成するビットのうちネットワークとサブネットを示す部分が決まります。また、本体自体を示すビットも決まります。 注記　HP all-in-one とこれを使用するコンピュータのすべてに、同じサブネットを割り当てることをおすすめします。
デフォルト ゲートウェイ	他のネットワークへの入り口となる、ネットワーク上のノード。この役割を果たすノードとしては、コンピュータやその他のデバイスを使用できます。 注記　デフォルト ゲートウェイのアドレスは、インストール ソフトウェアが割り当てます。
構成ソース	IP アドレスを HP all-in-one に割り当てるためのプロトコル。以下のものがあります。 ● 「**AutoIP:**」インストール ソフトウェアによって自動的に構成パラメータが決められます。 ● 「**DHCP**」構成パラメータは、ネットワーク上の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーから指定されます。小さなネットワークでは、ルーターがこのサーバーに当たります。 ● 「**マニュアル**」静的 IP アドレスなどの構成パラメータは手動で設定されます。 ● 「**指定なし**」HP all-in-one が初期化されているときはモードが使用されます。
DNS サーバー	ネットワークのドメイン名サービス (DNS) の IP アドレス。Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメ

構成ページの定義

	イン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。 ● [IP アドレス] - ドメイン名サーバーの IP アドレス。 ● [指定なし] -IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。 注記 DNS の IP アドレスがネットワーク構成ページに表示されているかどうかを確認してください。表示されていない場合は、インターネット サービス プロバイダ (ISP) から DNS の IP アドレスを入手してください。 デバイスから HP Instant Share を使用するには DNS の IP アドレスが必要です。DNS の IP アドレスは、内蔵 Web サーバーから入力できます。
mDNS	Rendezvous は、中央の DNS サーバーを使用しないようなローカル ネットワークおよびアドホック ネットワークで使用されます。Rendezvous でネーム サービスを行うには、DNS の代わりに mDNS を使用します。 mDNS を使用すると、LAN に接続されているすべての HP all-in-one をご使用のコンピュータから認識できます。また、Ethernet 対応のデバイスであれば、ネットワーク上のどのコンピュータでも取り扱うことができます。
管理者パスワード	埋め込み Web サーバーで使用する管理者のパスワード状態には以下のような状態があります。 ● 「**設定済み**」パスワードが指定されています。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力が必要です。 ● 「**設定なし**」パスワードが設定されていません。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力は必要ありません。
リンク構成	ネットワークのデータ転送速度。以下の種類があります。 ● 「**802.11b**」 - ワイヤレス ネットワーク用。 ● 「**10TX-Full**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「**10TX-Half**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「**100TX-Full**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「**100TX-Half**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「なし」 - ネットワークは無効です。

ワイヤレス ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示されるワイヤレス ネットワーク設定を説明します。

「パラメータ」	「説明」

(続き)

ワイヤレス状態	ワイヤレス ネットワークの状態 ● 「**接続**」: HP all-in-one がワイヤレス LAN に接続されていて、すべて正しく機能しています。 ● 「**切断**：」 設定が正しくない（ WEP キーが間違っているなど)、または HP all-in-one が範囲外であるため、 HP all-in-one がワイヤレス LAN に接続されていません。 ● 「**無効**」 - 無線の電源がオフになっているか、または Ethernet ケーブルが接続されているかのどちらか。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。
接続モード	デバイスやステーションが互いに通信する、IEEE 802.11 ネットワーキング フレームワーク ● 「**インフラストラクチャ**」 -HP all-in-one は、ワイヤレス ルーターや無線基地局などのワイヤレス アクセス ポイントを経由して、他のネットワーク デバイスと通信します。 ● 「**アドホック**」 -HP all-in-one はネットワーク上のデバイスと直接通信します。ワイヤレス アクセス ポイントは使用しません。ピア ツー ピア ネットワークとも呼ばれます。Macintosh ネットワークでは、アドホック モードはコンピュータ ツー コンピュータ モードとも呼ばれます。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。
ネットワーク名（SSID）	サービス設定 ID。ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。SSID はネットワーク名とも呼ばれます。このフィールドは、HP all-in-one が接続されているネットワークの名前を示しています。
信号強度（1-5)	送信信号と帰還信号は以下の 5 段階に分けられます。 ● 「**5**」 - 最高 ● 「**4**」 - 良い ● 「**3**」 - 普通 ● 「**2**」 - 悪い ● 「**1**」 - 最低 ● 「**信号なし**」 - ネットワーク上の信号を検出できません。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。
チャネル	現在ワイヤレス通信に使用されているチャネルの番号。ご使用のネットワークによって異なります。また、要求されたチャネルの番号と異なる場合もあります。値は 1 ～ 14 です。ただし、国/地

	域によっては認可チャネルの範囲が制限されていることがあります。 ● 「**<番号>**」 -1 ～ 14 の範囲の値。国/地域によって異なります。 ● 「**なし**」 -使用中のチャネルはありません。 ● 「**適用できません**」 - WLAN が無効か、 このパラメータがこのネットワークのタイプには当てはまりません。 注記 アドホック モードを使用していて、コンピュータと HP all-in-one の間でデータを送受信できない場合は、コンピュータと HP all-in-one の通信チャネルが同じかどうかを確認してください。インフラストラクチャ モードの場合、チャネルはアクセス ポイントを見れば分かります。
認証の種類	使用中の認証の種類です。以下の種類があります。 ● 「**なし**」 - 使用中の認証がありません ● 「**オープン システム**」 (アドホック、インフラストラクチャ両用) -認証は使用されていません。 ● 「**共有キー**」 (インフラストラクチャのみ) -WEP キーが必要です。 ● 「**WPA-PSK**」 (インフラストラクチャのみ) -事前共有キーを使用する WPA。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。 ユーザーとデバイスの身元を認証による確認後ネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーによるネットワーク リソースへの侵入が発生しにくくなります。このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。 オープン システム認証を使うネットワークでは、ネットワーク ユーザーを身元に応じて選別しません。このネットワークでは、すべてのワイヤレス ユーザーがアクセスを許可されます。ただし、このようなネットワークでは、簡単に傍受が行われるのを防ぐための第 1 レベルのセキュリティとして、WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化が使用されることがあります。 共有キーによる認証を行うネットワークでは、ユーザーやデバイスに対し、静的キー (16 進数または英数字からなる文字列) を使用して本人 (本物) であることを証明するように求めるという方法で、セキュリティを高めています。ネットワーク上のすべてのユーザーまたはデバイスは同じキーを共有します。WEP 暗号化は、共有キーによる認証とともに使用されます。このとき、認証と暗号化の両方に同じキーが使用されます。 サーバー ベースの認証 (WPA-PSK) を行うネットワークは、セキュリティが大いに強化されます。このようなネットワークは、ほとんどのワイヤレス アクセス ポイントとワイヤレス ルーターでサポートされています。アクセス ポイントやルーターは、ネットワークへのアクセスを求めるユーザーやデバイスの身元を検証した

(続き)

	上で、アクセスを許可します。認証サーバーでは、複数の異なる認証プロトコルが使用される場合があります。 注記　共有キーと WPA-PSK 認証は、埋め込み Web サーバーからのみ設定できます。
暗号化	ネットワークで使用されている暗号化方式 ● 「なし」 -暗号化は使用されていません。 ● 「**64-bit WEP**」 -5 文字、あるいは 10 桁の 16 進数による WEP キーが使用されています。 ● 「**128-bit WEP**」 -13 文字、あるいは 26 桁の 16 進数による WEP キーが使用されています。 ● 「**WPA-AES**」: Advanced Encryption Standard 暗号化 が使用されています。 これはセキュリティを確保するための暗号化アルゴリズムですが、アメリカ合衆国の当局に認定されていない規格です。 ● 「**WPA-TKIP**」: 拡張暗号化プロトコルである、Temporal Key Integrity Protocol が使用されています。 ● 「**自動**」: AES または TKIP が使用されています。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。 WEP は、電波を経由するデータを暗号化することで、エンド ツー エンドの転送の場合と同様のデータ保護を実現することを目的としています。このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。
アクセスポイント ハードウェア アドレス	HP all-in-one が接続されているネットワークにあるアクセス ポイント ハードウェアのアドレス。以下の種類があります。 ● 「**<MAC アドレス>**」 -アクセス ポイントに固有の MAC (媒体アクセス制御) ハードウェア アドレス。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。

その他

次の表では、ネットワーク構成ページに表示されるデータ送受信情報について説明します。

「パラメータ」	「説明」
転送されたパケットの合計	HP all-in-one が起動してから正常に送信したパケットの数。このカウンタは、HP all-in-one の電源をオフにするとクリアされます。パケット交換方式のネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられます。各パケットには、データだけでなく宛先アドレスも格納されます。
受信したパケットの合計	HP all-in-one が起動してから正常に受信したパケットの数。このカウンタは、HP all-in-one の電源をオフにするとクリアされます。

b 用語集

ASCII	American Standard Code for Information Interchange（情報交換用米国標準コード） すべてのラテン文字（大文字および小文字）、数字、句読点などをコンピュータで表すのに広く使用されてる標準コード
autoIP	インストール ソフトウェアの機能のひとつで、ネットワーク上のデバイスの構成パラメータを決定します。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol 。 ネットワーク上のデバイスに構成パラメータを送るネットワーク上のサーバーです。小さなネットワークでは、ルーターがこのサーバーに当たります。
DNS	Domain Name Service 。Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。
DNS-SD	DNS を参照してください。 SD の部分は、 Service Discovery の略です。 Apple によって開発されたプロトコルの一部で、自動的にコンピュータやデバイスを見つけることができる IP ネットワークのサービスです。
DSL	Digital Subscriber Line 。 高速インターネット通信のひとつ。
Ethernet	銅線ケーブルを使用してコンピュータを接続する最も一般的なローカル ネットワーク技術
Ethernet ケーブル	有線接続でネットワーク構成要素を接続するのに使用されるケーブル。CAT-5 Ethernet ケーブルは、ストレート ケーブルとも呼ばれます。- Ethernet ケーブルを使用する場合は、ネットワーク構成要素がルーターに接続されている必要があります。 Ethernet ケーブルは、RJ-45 コネクタを使用します。
EWS	Embedded (埋め込み) Web サーバー。 HP all-in-one を簡単に管理できる、ブラウザをベースにしたユーティリティです。 状態の監視や、 HP all-in-one のネットワーク パラメータの設定、 HP all-in-one の機能へのアクセスなどが可能です。詳細については、埋め込み Web サーバーを使用するを参照してください。
HEX	16 進数。 16 を基数とする記数法。0～9 の数字と A～F の文字を使用します。
ハブ	もはや最近のホーム ネットワークではあまり使われなくなりましたが、ハブは各コンピュータから信号を受け取り、それをハ

用語集

(続き)

	ブでつながれている他のコンピュータすべてに送ります。 ハブは受動的です。ネットワーク上の他のデバイスは互いに通信するためにハブに接続します。ハブは、ネットワークを管理しません。
IP アドレス	ネットワーク上のデバイスを識別する固有の数字です。IP アドレスは、DHCP または AutoIP によって動的に割り当てられます。静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨しません。
インフラストラクチャ	インフラストラクチャ ネットワークは、ルーターやスイッチ、アクセス ポイントを使ってネットワーク構成要素を接続します。
MAC アドレス	HP all-in-one ごとに固有に付けられている媒体アクセス制御 (MAC) アドレス。 これは、ネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。複数のハードウェアが同一の MAC アドレスを持つことはありません。
NIC	ネットワーク インタフェース カード。 コンピュータのカードで、Ethernet 接続を行います。これによってコンピュータをネットワークに接続することができます。
RJ-45 コネクタ	Ethernet ケーブルの端のコネクタ。 標準の Ethernet ケーブル コネクタ（RJ-45 コネクタ）は普通の電話ケーブル コネクタと似ていますが、互換性はありません。 RJ-45 コネクタは幅が広くて厚みがあり、端に必ず接点が 8 箇所あります。　電話ケーブル コネクタの接点は 2～6 箇所です。
SSID	サービス設定 ID。ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。SSID はネットワーク名とも呼ばれます。このフィールドは、HP all-in-one が接続されているネットワークの名前を示しています。
ルーター	ルーターは 2 つ以上のネットワーク間の中継を行います。 ルーターを導入すると、ネットワークをインターネットに接続できるばかりでなく、2 つのネットワークをリンクして両方をインターネットに接続することができます。また、ファイアウォールを使用し、動的アドレスの割り当てを行うことで、ネットワークの安全性を高めることができます。 ルーターはゲートウェイの働きもします。スイッチには、こうした機能はありません。
スイッチ	スイッチを使用すると、複数のユーザーがネットワーク上で情報を同時に送信することができ、お互いの速度が低下することもありません。ネットワークのさまざまなノード (ネットワーク接続ポイント、通常はコンピュータ) が、互いに直接通信できます。

索引

invent

この印刷物には、50%以上の再生パルプと
10%以上の再生紙を使用しています。

Electronic Edition

www.hp.com

Q3450-90293